

## 令和2年度高松市伝統的ものづくり振興事業決算報告

【決算額 8,231,835 円】

1 伝統的ものづくり振興審議会開催経費 【事業費 91,000 円】

令和2年度 開催実績3回 (6/24、8/20、2/26)

2 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室 【事業費 84,000 円】

&lt;普及啓発&gt;

昨年度までの「夏休み親子探検隊リーフレット」を廃止し、広報高松7月号、市ホームページ、instagram等のSNSで情報発信し、以下の通り、6コースを実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛や夏休み期間の短縮の影響もあり、総定員170組のところ応募97組、参加81組となった。

	内容	実施日	場所	参加者
①	讃岐かがり手まり「まきまき」体験	8月3日(月)	こども未来館	18組
②	楽しい組手障子体験【Aかごめコースター、Bミニ時計、Cミニフォトスタンド】	8月5日(水)		14組
③	松を知ろう！黒松の苔玉づくり体験	8月6日(木)		9組
④	菓子木型で和三盆干菓子を作ろう体験	8月11日(火)	IKODE 瓦町	17組
⑤	保多織でコサージュを作ろう体験	8月12日(水)	こども未来館	13組
⑥	讃岐のり染 藍染めハンカチづくり体験	8月18日(火)	四番丁スクエア	10組
			合計	81組



### 3 伝統的ものづくり学校巡回教室

【事業費 669,208 円】

＜普及啓発＞

次代を担う子どもたちが伝統的ものづくりについて理解と関心を深めるとともに、高松の歴史を伴う伝統的ものづくりに関する教育の推進、自分の住んでいる都市に対して「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することを目的に実施した。

高松市内の小中学校に希望調査をとり、希望のあった学校に、香川漆器・庵治石・盆栽の3つの分野の職人の方のお話を聞いたり、作業の様子や作品を実際に見てもらったり、簡単な体験をってもらう内容で実施した。

	小中学校・学年等	参加人数
①	三溪小学校・4年生	70名
②	木太小学校・6年生	87名
③	附属高松中学校・2年生	105名
	3校	262名



### 4 伝統的ものづくり産業発展事業補助金 【事業費 4,818,000 円(内、県補助 3,211,000 円)】

＜人づくりの推進/事業環境の整備/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援＞

本市の伝統的ものづくり産業（漆器・石材）の産地組合（事業協同組合）が実施する、伝統的ものづくりの振興に寄与する、プロモーション・販路開拓事業や、技術・技法伝承事業に対し補助金を交付した。

1品目当たりの上限金額を3,000千円とし、事業費全体の内、組合が2/5市が3/5以内を負担した。また、市が負担した補助金額の2/3以内を県が負担した。

品目	産地組合	事業名	事業実績	交付金額
漆器	香川県 漆器工業 協同組合	プロモーション・販路開拓事業  技術・技法 伝承事業	<p>全国漆器展への出店及び県内での展示会（工芸士まつり、香川漆器ぬり・もの・がたり、漆器まつり）を開催し、展示販売を行った。</p> <p>組合ホームページ誘導ツールとして、QRコードを掲載したコースター作成し、各イベント等で配布し、イベントや組合企業の情報にアクセスしやすくした。</p> <p>若手技術者へ木地作りの技術・技法伝承として、1週間に1度、計26回指導を行った。全ての工程を習得するには年月をかけて継続が必要。</p>	1,818千円
石材	讃岐石材 加工 協同組合	プロモーション・販路開拓事業	<p>WEB媒体の活用のため、ランディングページの作成や英語表記、WEB広告、またPRコースターの作成を行い、組合ホームページやオンラインショップ「あじすた」へ誘導した。</p> <p>ホームページを見ての問い合わせや見積もり依頼もあった。</p>	864千円
	協同組合 庵治石振 興会	プロモーション・販路開拓事業	<p>庵治ストーンフェア2020は新型コロナウイルスのため中止となったが、パンフレットを印刷しており、全国の石材産地組合、石材事業者、協賛事業者へ配布した。また、代わりに「誌上庵治ストーンフェア2020 vol50」として、「日本石材工業新聞」の特集号発行、「月刊石材」への記事掲載で庵治石や庵治石製品のPRを行い、石材関係会社等の定期購読者等へ配布した。</p> <p>過去の取引業者からの引き合いや、墓石の発注の増加、仏像彫刻、機械工具を受注するなど、顧客の掘り起こしに成功した。</p>	1,636千円
	庵治石 開発 協同組合	プロモーション・販路開拓事業	<p>廃棄されている皮石（板石）を活用し建築材としての販売に向けた皮石保管台（鉄馬）を作成し、8事業所に設置、最大約200tの確保ができる。</p> <p>海外を含めた販路開拓を目指し、組合ホームページを多言語表記し、組合事業の紹介や取扱商品、新商品のPR項目を追加したことにより、商品の問い合わせや新築建造物への商品提供の契約があり、販路拡大につながった。</p>	500千円

5 伝統的ものづくり振興事業補助金 【事業費 1,495,000 円】

＜人づくりの推進/事業環境の整備/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援＞

高松市の伝統的ものづくりの技術や素材を活用し、伝統的ものづくり事業者及び関係団体等が取り組む販路開拓や担い手育成、ブランド力向上に係る事業に対し、費用の一部（上限額 50 万円、補助額は総事業費の 1/2 以内）を補助することにより、自主的な活動の促進や事業者の事業環境の整備を図り、伝統的ものづくりの振興に繋げることを目的としている。

令和 2 年 5 月 1 日（木）～6 月 5 日（金）の間、事業計画を募集した結果、3 事業者（販路開拓 2 事業者、ブランド力向上 1 事業者）の応募があり、審査の結果、以下のとおりすべて採択した。

事業区分	事業名	申請事業者
販路開拓	自社ブランド「初乃」の「保多織パジャマ」の販路開拓	株式会社オカウチアピー
販路開拓	讃岐のり染 製品「mimai」の PR や販路開拓	有限会社大川原染色本舗
ブランド力向上	鷺ノ山石製アロマストーン製作プロジェクト	有限会社鷺ノ山石材商会

※第 2 回審議会にて、成果発表を行う予定。



保多織パジャマ POP



「mimai」パンフレット



鷺ノ山石製アロマストーン

6 たかまつ工芸ウィーク開催事業負担金 【事業費 1,074,627 円】

＜普及啓発/販路開拓＞

【概要】 高松のサイト（店舗や施設）同士がつながりあい、工芸に特化した週間をつくりあげ、高松を工芸の発信地として広く内外にアピールすることを目的として開催した。

【期間】 10 月 8 日（木）～11 月 8 日（日） 32 日間



【主催】 たかまつ工芸ウィーク実行委員会

(高松市、高松商工会議所、高松市牟礼庵治商工会、香川県漆器工業協同組合、香川県盆栽生産振興協議会、IKUNAS、かがわ物産館「栗林庵」、kitahama blue stories、まちのシューレ963)

【事業内容】

①イラストマップの作成

発行枚数：30,000枚

配布先：各掲載店舗、市関連施設、教育機関、駅、空港、宿泊施設等

②スタンプラリーの実施

対象店舗・施設数：26か所

景品：kitahama blue stories 賞：6,000円相当×6名様

IKUNASg 賞：18,000円相当×2名様

かがわ物産館「栗林庵」賞：8,000円相当×5名様

まちのシューレ963 賞：18,000円相当×2名様

応募件数・・・304件

③「#たかまつ工芸ウィーク」フォトコンテストの実施（Instagramにて）

景品：#フォトコンテスト賞：10,000円相当×1名様

応募件数・・・27件

④参加店舗・施設によるイベント・ワークショップの開催

参加・協力してくれた施設・店舗・イベント数

・・・41か所・イベント（参考：令和元年度42、平成30年度11）

参加者数等（ワークショップへの参加者、店舗・施設・イベント等への来場者）

・・・延べ79,986人（参考：令和元年度23,623人、平成30年度9,802人）

⑤ホームページ更新、Instagram運用・広告、Facebookページ開設・運用、

Instagram、Facebookでの広報

